

まちの話題

5/1
〔月〕

地域の 美化推進に貢献

永年にわたり、地域の美化活動を実施してくださっている木村康平さん(鯛浦町)に感謝状が贈呈されました。

毎週水・日曜日の朝を基本として、駅周辺や道路に落ちているたばこの吸い殻やペットボトルなどを拾ってくださっています。

木村さんは、「これをきっかけに、少しでもごみのポイ捨てが減ってくれたら!」とおっしゃっていました。

木村さん、いつもありがとうございます。



ハイドラシアン

ヨーロッパで品種改良されたアジサイの仲間です。200以上の種類があり珍しい形や色が存在します。花を眺めたり触れたりすると心が癒され気持ちが和みリラックスできる効果があります。皆さんも五感を使って花を楽しんでみてください。

4/25
[火]

令和5年度
市役所職員普通救命講習



令和5年度新規採用職員12人と、講習を希望する職員6人に対し、市役所防災課の応急手当普及員による普通救命講習を実施しました。主に応急手当の重要性、救命処置の流れ、心肺蘇生の手順、AEDの使用手順などを受講し、市職員として、救急処置能力の向上を図りました。



鈴木応急手当普及員



防災クイズに挑戦してみませんか？

問題 ▶ 普段からできる、台風対策として正しいのはどれか？ 答えは下をご覧ください。

- ① 台風に備えて、家財道具を高いところに移す。
- ② 外出や旅行を控える。
- ③ 側溝や排水溝の掃除をして水回りをよくする。

(3) 日頃から、大勢に揃って自らの周囲を点検し、段間排水のためにある溝や壁などの上壁に詰まったり水が溢れ落ちたりと気づいたらすぐに清掃しておきましょう。落下してケガをする危険性のため、虫風が強い溜水の危険がある場合にもご注意ください。

▶

やとみ 歴 史 探 訪

このコーナーでは、弥富市の
まだまだ知られざる歴史について、
弥富ふるさとガイドボランティアが
紹介していきます。



かん ど
神戸新田排水機碑

十四山支所を東に進み、西尾張中央道を過ぎてしばらく行くと、神戸の集会所があります。敷地内には石碑がいくつか並んでいますが、その中で最も大きいものが「ほうたくむきゅう豊澤無窮」と題されたこの碑です。

神戸新田は、江戸時代中頃に名古屋の商人、神戸分左衛門の出資により開発された新田です。明治 24 年の濃尾地震による地盤沈下で、排水不良に悩まされるようになりました。この窮状から人々を救うため、神戸氏は排水機の設置を計画し明治 42 年に完成させました。

「豊澤無窮」とは、豊かな実りが続くという意味で、神戸新田の人々により建てられたこの石碑からは、心ある地主への感謝の気持ちがあがります。



神戸新田排水機碑

市長の部屋



清々しい初夏を迎え、木々の緑も日増しに深くなってまいりました。皆さま健やかに
お過ごしのことと存じます。

3年以上にわたり私たちの日常生活や社会経済活動に大きな影響をもたらした新型コロナウイルス感染症は、5月8日からその位置付けが「2類相当」から「5類」へ変わりました。移行に伴い、これまで公費負担により無償であった検査費や医療費が自己負担になるなど、新型コロナウイルス感染症への対応も変わります。ご不明な点がありましたら、市役所健康推進課までお問い合わせください。

また、コロナ禍における原油価格・物価高騰に対する市民への新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の支援については、令和５年６月市議会定例会に提案してまいります。

結びに、皆さまにおかれましては輝く木々の若葉のように、はつらつとお過ごしください
ますようお願い申し上げます。

明正藤安 張市富弥